

第11回 市長と話そう会(温泉通り振興会)

日時 平成29年11月13日(月) 19:00~20:30

場所 本町公民館

参加者 温泉通り振興会・本町区・北部商店街有志 14名



市民の皆さまと市長が直接語り合う『市長と話そう会』第11回目は、温泉通り振興会の皆さんとの意見交換で、多数のご意見をいただきました。

内容を抜粋して掲載しています。

《掲載にあたり、一部個人のプライバシーに関する部分などについては省略しております。》

意見交換

(参加者)

来年5月12日に開催される竿燈まつりについて。竿燈誘致の目的や市長が一番狙っていることは何か。

(市長)

大きく2つある。

①『明治維新150年』を機に「武雄」を「秋田」を介して知ること

②温泉通り・本町・蓬莱町などの地区の浮揚の機運を高め、「自分たちの手でまちを盛り上げる」きっかけづくりの機会にすること

(参加者)

夜みの開催は非常にもったいないと感じる。昼から夜をつなぐ催しや、まつりの雰囲気作りができたらと思う。例えば、庁舎あるいは(夜に)竿燈を披露するポイントに日中は竿燈を展示しておくのはどうか。

(市長)

始まるまでの時間飾っておくというのはとても良いと思う。

(市長)

市単独でイベントを実施することは難しい。いろいろな仕掛けを考えていた

だきたい。そのための環境整備や諸サポートがうまく集まるようにしたい。

(参加者)

空き店舗対策について。大きめの店舗を小分けし、1 坪店舗・10 坪店舗のようにして気軽に店を出せるような環境にしたいと考えている。

(市長)

大賛成。チャレンジショップのようなイメージで、若い方にも入ってもらいたい。これからの温泉通りの 1 つの道だと思う。店舗を小分けにする時の課題や法令など、行政が解決できそうなことであれば教えていただきたい。

(参加者)

新幹線開業に向けて。新幹線開業時に温泉通りがどうあってほしいか。

(市長)

新幹線開業を生かして『西から人を呼ぶ』ことへ武雄は力を入れていかなければならないと考えている。インバウンドや長崎空港・長崎港といった新たな客層をしっかりと見据えて、今後の温泉通りのあり方や求められることを考えていただきたいし、一緒に考えたい。